

目標達成計画

作成日: 平成 26年 7月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昼間や夜間を想定した消防訓練を、利用者と共に年2回消防署指導の下で行っている。地域の方々と共に行う訓練まではできていない。ご近所の方には「何かあった時には、お互い協力し合いましょう」という話で終わっている。	避難訓練を繰り返して実施して、避難方法の熟知を図っているが、近隣住民に避難した利用者の見守りの協力も得られるよう、ご近所とのつながりを構築していく。	災害時などにお互いに助け合えるよう、ご近所との顔なじみや信頼関係づくりができるように今までより以上に、幅広く地域とのつながりが持てるよう、様々な取組みを今後行う。	12ヶ月
2	1	職員全員が理念の中身を知り、理解して日々の実践の中で活かせる「さくら荘」だけの独自の理念をつくることが望まれる。	理念とは、物事に対して、こうあるべきだという根本の考えという意味があり、行き詰まった時などにもこの理念を見て、立ち返り、法人としての方向性がぶれないことに対しても活用していく。	今までの理念をそれぞれ基本理念、運営理念として継続する。新たに職員みんなの意見を集約し、わかりやすい短い「さくら荘理念」を構築し、名札等に表記し、常に身につけ、職員の意識付けを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4	1				ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して